

1 得点分布及び小問ごとの正答率

〈表1〉得点分布

得点	人数	
	人数	%
100	1	0.1
90～99	16	2.4
80～89	51	7.6
70～79	82	12.2
60～69	93	13.9
50～59	111	16.6
40～49	108	16.1
30～39	108	16.1
20～29	84	12.5
10～19	16	2.4
1～9	0	0
0	0	0

*合格者の中から、無作為に抽出した670人(12.4%)の結果である。

〈表2〉小問別正答率

大問	小問	正答率	
[1]	1	No.1 91.6	
		No.2 69.7	
	2	No.1 57.9	
		No.2 83.3	
		No.3 41.5	
		No.4 75.5	
	3	No.1 31.8	
		No.2 16.3	
		No.3 31.9	
		No.4 28.8	
	小計		50.8
	[2]	1	64.2
2		② 60.5	
		③ 63.4	
		④ 43.3	
		⑤ 53.4	
		⑥ 73.9	
小計		59.5	
[3]	1	ア 53.9	
		イ 78.4	
		ウ 61.0	
	2	① 78.2	
		② 28.7	
	3	82.1	
	4	43.1	
	小計		59.9
	[4]	1	18.0
		2	56.6
3		③ 65.4	
		④ 53.4	
		⑤ 47.4	
小計		46.8	
[5]	1	(1) 71.3	
		(2) 46.7	
		(3) 62.5	
	2	20.0	
	3	74.6	
	4	41.8	
	5	54.3	
6	11.9		
小計		45.8	

2 分析結果の概要

得点分布では30点台から50点台という幅広い得点層にわたって、それぞれ約16%となっており、その前後の層である60点台から70点台及び20点台にも約12～14%が分布している。昨年度と比較して、上位層が減少し、中・下位層が増加している。

小問別正答率をみると、昨年度に比べ正答率が特に低くなった問題は、[1]と[2]である。[1]のリスニングについては、比較的長い対話文の聞き取りにより難易度が上がったため低い正答率となっている。[2]、[3]、[5]は主に「読むこと」の領域の問題であるが、昨年度に比べて全般的に語彙数が増え、難易度が上がったため、いずれも正答率が低くなっている。[4]は主に「書くこと」の領域で、例年正答率が低いですが、本年度も同じような結果になっている。

大問別の正答率の経年比較は、次のとおりである。

大問	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
[1] リスニング	80.5	71.8	71.4	76.4	50.8
[2] 対話文読解	74.3	82.6	70.8	80.4	59.5
[3] 対話文、文法・理解※	66.7	66.0	56.0	69.0	59.9
[4] 表現力	54.4	44.4	51.3	45.2	46.8
[5] 長文読解	66.0	56.8	43.7	56.9	45.8

※平成20年度の[3]の内容については、長文読解、表現力・文法となっている。

3 小問ごとの内容及びねらい

大問	小問	内容	出題のねらい	出題形式			評価の観点					
				記号 選択	記述 ～英 語	記述 ～日 本語	関心 意欲 態度	表現 の能 力	理解 の能 力	知識 理解		
1	1	No. 1	聞く こと	短い英文を聞いて、内容を理解することができる。	○					●		
		No. 2		対話文を聞いて、対話の最後の表現に対して、適切な応答を選択することができる。	○					●		
	2	No. 1		比較的長い対話文を聞いて、詳細を理解することができる。	○					●		
		No. 2										
		No. 3										
	3	No. 1								●		
		No. 2										
		No. 3										
	2	1		読む こと	俳句に関する比較的長い対話文を読んで、対話の流れから、英文中の空欄に入る適切な語を選択することができる。	○					●	●
2			②		対話文の内容を理解して、空欄に入る英文を選択することができる。	○				●		
		③										
		④										
		⑤										
3		⑥								●		
	⑦											
3	1	書く こと	「夏休みの思い出」に関する英文を読んで、文章の流れから、与えられた動詞を適切な形にして書くことができる。		○				●	●		
			2	①	話の内容を踏まえ、与えられた英語を用いて正しい語順で書くことができる。		○			●	●	
	3	読む こと		本文中の英文の内容に合っている英文を選択することができる。	○					●		
			4	本文中の内容に合っている英文を選択することができる。	○					●		
	4	1	書く こと	指示された単語を使って、日本語に合うような英文を書くことができる。		○			●	●		
2				読む こと	文章の流れから、適切な語句を選択することができる。	○				●	●	
		3	書く こと		文章の内容を理解した上で、初歩的な英語を用いて、自分の考え等を書くことができる。		○		●	●	●	●
					③							
④												
⑤												
5	1	読む こと	(1) 高齢者のインターネット利用に関する中学生のスピーチ原稿を読んで、文章の概要・要点を読み取ることができる。	○					●			
			(2) 本文の内容を理解して、文章中の空欄に入る英文を選択することができる。	○					●			
			(3) 本文の内容に合っている日本語の説明文を選択することができる。	○					●			
	2			本文の内容を理解して、文章中の空欄に入る英文を選択することができる。	○					●		
				本文の内容に合っている日本語の説明文を選択することができる。	○					●		
				本文の内容を理解して、文章中の空欄に入る英文を選択することができる。	○					●		
3		本文の内容に合っている英文を選択することができる。	○					●				
		本文中の下線部の内容について、筆者の立場に置き換えた場合を、日本語で説明することができる。			○			●				

4 標準解答及び考察

1

〈標準解答〉

1	No. 1	ウ	No. 2	イ				
2	No. 1	イ	No. 2	ア	No. 3	イ	No. 4	ウ
3	No. 1	エ	No. 2	エ	No. 3	ウ	No. 4	ア

〈考察〉

聞く力をみる問題である。1は、短い英文を聞き、それに関する質問の答えとして適切なものを選択する問題で、特にNo. 2は、最後まで聞かなければ正解に達しない問題になっているため、正答率はNo. 1の91.6%と比べて69.7%と低くなった。誤答の大半はエの雪模様を含んだ絵であった。2は対話を聞いて、対話の最後の表現に対する応答文を選択する問題である。No. 3の正答率が41.5%とやや低い結果であった。What timeで始まる問いかけに対して選択肢に時間を含んだ表現がなかったことが原因であると思われる。3は比較的長い対話文を聞いて、その後の英語の質問に答える問題である。会話が行われている状況を予測したり、聞き取った情報を整理して総合的に判断したりする力が求められており、難易度としては高く、正答率は3全体で30%を下回った。

そこで指導に当たっては、日頃から授業の中で、生徒に言語使用の場面を意識させることが大切である。また、具体的な内容や大切な部分を聞き取ることができるようにするために、聞き取りのための様々な場面や機会を設定することも必要である。

2

〈標準解答〉

1		ア								
2	②	カ	③	オ	④	イ	⑤	エ	⑥	ア

〈考察〉

俳句（「古池や蛙飛び込む水の音」松尾芭蕉）を題材にした比較的長い対話文を読み、対話の流れから、本文の空所に入る適切な語や英文を選択する問題である。昨年度に比べて語彙数が増加し、正答率は80.4%から59.5%と約20ポイント低くなった。

そこで指導に当たっては、文章を読む際には文脈や文の前後関係に注意し、特に対話文において話の流れを理解しながら英文を読む習慣をつけさせることが大切である。

3

〈標準解答〉

1	ア	seen	イ	swimming	ウ	ate
2	①	I didn't know what to do				
	②	why don't you give it a try				
3	イ					
4	ウ					

〈考察〉

都井岬のトビウオ釣りを題材にした「夏休みの思い出」に関する英文を読み、その内容理解や文法力をみる問題である。1は文脈に合うように空欄内の動詞を適切な形にして書く問題であるが、特にアの受け身における過去分詞seenの正答率が53.9%と最も低く、誤答としてはsawあるいはseeingが多かった。2のtryを名詞として使用する②（give it a try）の語整序の問題では、正答率が28.7%と低かった。本文の内容に合っている英文を選択する4の正答率は43.1%にとどまった。

そこで指導に当たっては、「文法事項」や「語、連語及び慣用表現」などの言語材料の基礎的・基本的事項については繰り返しの指導等によって定着を図ることが必要である。また、一語一語の意味や一文一文の解釈など、内容の特定部分にのみとらわれることなく、文章全体の流れを読み取ったり、概要をとらえたりするなどの読み取りの指導を行うことも必要である。

4

〈標準解答〉

1	I'm looking forward to seeing (meeting) you.	
2	エ	
3	③	例 music
	④	例 I like to sing songs very much. (7語)
	⑤	例 I play the piano or read books. Sometimes I watch movies on TV. (13語)

〈考察〉

ホームステイに来るアメリカ人と日本の中学生の手紙のやりとりという題材を基に、書く力をみる問題である。1は指示された単語を使って日本語に合うような英文を書く問題で、会話や手紙などで実際によく使われる表現である。しかし、look forward toは書くことができても、後に続くseeing (meeting) が適切な形になっておらず、誤答としてsee (meet) が多く、正答率は18.0%と低かった。3の⑤は「時間があるときに何をするか」について、10語以上の英文で答えるという問題であった。無解答は少なかったが、まとまりのある内容の文章になっていないものがみられた。

そこで指導に当たっては、単一の文を書けるようにする指導に留まるだけでなく、適切な場面や話題を設定して、自分の意向が読み手に対して正しく伝わるように、まとまりのある内容の文章を書かせる指導を継続的に行うことが必要である。

5

〈標準解答〉

1	(1)	イ	(2)	ウ	(3)	イ
2	エ					
3	ア					
4	ア					
5	エ	オ				
6	もし智子さんが、新しい部 (バスケットボール部) に入らない (入らなかった) なら、多くの友達ができない (できなかった) かもしれない。					

〈考察〉

本文は、高齢にかかわらずインターネットに挑戦した祖母達から、前向きに生きることの大切さを学んだという内容を中学生が書いたスピーチ原稿である。身近なテーマであるが、読むスピードが求められる問題である。語彙数は昨年度より増加し、正答率が45.8%と約11ポイント下がった。特に正答率が低い問題としては、1の(2)の正答率が46.7%で、誤答例としてはアを多く選択しており、段落全体の内容を理解しないと正答に結びつかない問題であった。2の正答率も20.0%と低い結果であった。これは、次の文頭の接続詞Butの文中における働きを十分に理解していないことが原因であると思われる。4の正答率は41.8%にとどまり、前後関係をよく理解しないまま選択した結果、誤答としてイが多かった。6は、本文中の下線部の内容について、筆者の立場に置き換えた場合を日本語で説明する問題である。正答率は全問題の中で最も低い11.9%であった。無解答や下線部訳を行っているだけのものが目立った。また、具体的な説明まで踏み込んでいない解答もみられた。

そこで指導に当たっては、長い文章を読んで、概要や要点を正確に読み取らせたり、書き手の意向などを適切に理解させたりすることが大切である。特に、語彙力の育成を確実にしながら、ある程度の長さの文章を、設定した時間内に読み取らせる指導が必要である。その際、設問の形式を工夫し、前後関係からより適切な表現等を選ばせたり、行間を読みその内容を日本語でまとめさせたりする等の指導も考えられる。このような指導の機会を継続して設けていくことにより、速く正確に読んだり英文を深く理解したりする力を育てることが大切である。

【英語リスニングテスト 読み上げ原稿】
本番用台本（平成20年度）

本番用

[4点チャイム]

【4秒】

これから、英語の学力検査を行います。まず、解答用紙に、出身中学校、受検番号及び氏名を書きなさい。書き終えたら、問題用紙のページ数を調べて、異常があれば黙って手を挙げなさい。放送中はメモをとってもかまいません。

[1点チャイム]

【56秒】

最初の問題は、放送によるリスニングテストです。問題用紙の1ページを開きなさい。

では、1の問題を始めます。1の問題は、英文を聞いて、その内容について質問に答える問題です。No.1とNo.2の質問の答えとして最も適当なものを、それぞれア、イ、ウ、エの中から1つ選び、記号で答えなさい。英文と質問は2回繰り返します。それでは、始めます。

【1分46秒】

Taro went to the library to study yesterday afternoon. It was raining and very cold in the morning. His mother thought it would be snowy in the afternoon. So she said she would take him to the library by car. But he walked there because it was cloudy in the afternoon.

Question

No.1 : Why did Taro go to the library?

Question

No.2 : How was yesterday's weather?

繰り返します。.....

[1点チャイム]

【3分22秒】

2の問題に移ります。2の問題は、No.1からNo.4までのそれぞれの対話を聞いて、対話の最後の表現に対して相手が答える表現を選ぶ問題です。相手が答える表現として最も適当なものを、ア、イ、ウ、エの中から1つ選び記号で答えなさい。相手が答える箇所ではチャイムが鳴ります。英語による対話は2回繰り返します。それでは、始めます。

No.1

【4分07秒】

M : What's the matter, Mika? You don't look happy.

F : In fact, my brother broke one of my favorite cups. I'm a little upset.

M : (チャイム)

繰り返します。.....

No.2

【4分50秒】

F : What are you going to do next Sunday?

M : I'm planning to go shopping with Emi. Do you want to come?

F : (チャイム)

繰り返します。.....

No.3

【5分26秒】

F : Where do you want to go?

M : I want to go to the airport. What time does the bus for the airport come?

F : (チャイム)

繰り返します。・・・・・・・・

No. 4

【6分00秒】

F : Do you know what "keshigomu" is called in English, Makoto?

M : No, I don't. How do you say it in English?

F : We say "an eraser" in English.

M : (チャイム)

繰り返します。・・・・・・・・

[1点チャイム]

【6分45秒】

3の問題に移ります。3の問題はソフトボール部に所属している弘美さんとビル先生の対話を聞いた後に、その内容について質問に答える問題です。No.1からNo.4までの質問に対する答えとして最も適当なものを、それぞれア、イ、ウ、エの中から1つ選び、記号で答えなさい。英語による対話及び質問は、2回繰り返します。それでは、始めます。

Hiromi : We had a softball tournament last Saturday and Sunday.

We were going to win the tournament. But . . .

Bill : What's wrong? You didn't win the tournament, did you?

Hiromi : No. We won two games on Saturday, but lost the first game on Sunday.

Bill : Oh, that's too bad. Where was the tournament held?

Hiromi : In Nobeoka.

Bill : How did you go there?

Hiromi : 2 members went there by their parents' cars. The others, 15 members took the 7 o'clock train to Nobeoka. All of us stayed in Nobeoka on Saturday ni

Bill : ght.

Hiromi : I see. You had to get up early on Saturday morning, didn't you?

Yes. I got up at 6 o'clock. I left my house at 6:30, but arrived at Miyaz

Bill aki station only five minutes before the 7 o'clock train left.

Hiromi : Oh, really? By the way, was that tournament the last one for you?

Bill : No, a more important tournament will be held in Miyakonojyo next month,

Hiromi : in September.

That's good. I'm sure you will win the next tournament.

Thank you, Bill. We'll try our best.

Que
stion

No.1 : Did Hiromi's team win the tournament in Nobeoka?

Question

No.2 : How many members of Hiromi's team stayed in Nobeoka on Satur

Question day night?

No.3

Question : What time did Hiromi arrive at Miyazaki station on Saturday

No.4 morning?

: When was the tournament held in Nobeoka?

繰り返します。・・・・・・・・

【9分40秒】

[1点チャイム]

【11分54秒】

これで、リスニングテストを終わります。引き続き、2ページ以降の問題に進みなさい。

【12分07秒】